

コンクリート・ミキサの改良に関する

考案懸賞入選発表

昨年の秋、工事畫報社工事研究會がコンクリート工事の合理化促進の一助として、コンクリート・ミキサの改良に関する考案其他の資料を懸賞募集したるに對し、幸にして斯界専門家に多大の關心を與へ、應募者も豫想以上に多く、締切日の十一月五日迄に到着したるもの、内より、可良なるものに就て、工事畫報社工事研究會幹部及び顧問各位と慎重審査の結果、次の三氏を入選と決定するに至れり。

朝鮮總督府内務局清津土木出張所

池田 増太郎氏

内務省新潟土木出張所機械係長兼新潟機械工場主任

上 關 德 也 氏

東京市丸ノ内二ノ八日本建機株式會社

眞 鍋 武 雄 氏

以上三氏入選す

昭和十年一月一日

東京丸ノ内三ノ六

工事畫報工事研究會

尙今回の應募に於て痛感したるは、土木は土木技術家のみにて出来るものではなく、必ず他の専門技術家と理解ある協力に依らねば發達しないと云ふことである。此の點は日本の工事關係者先覺者も充分御承知の事とは思ふが、實際はまだまだ不徹底の甚しいものがある。

三氏の應募考案及び注意事項は一月號に發表せる通りである。尙は上關氏の改良ミキサは既に製作して内務省最上川改修工事其他に數臺使用されて好成績を擧げつゝあるもの、眞鍋氏の考案は動力の節減と水量の調節に於て特に注目すべきものあり。池田氏 應募は實地工事の周到なる經驗を檢討したるものにして、將來のミキサ改良に多くの問題を與へたるものなり。

以上三氏に對し入選の賞金及賞牌は一月十日夫々發送を了したり。

以上を以て今回の懸賞に関する報告を終る。